

# AQ-8100 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】  
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。  
本キットは以下の車種に対応します。  
・阿武隈急行8100形  
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(チラツキ対策を施しています。)

**！ 注意**

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】  
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

- ・ライトユニット : 1個/セット
- ・チラツキ防止ユニット : 1本/箱

【その他】

- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。  
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

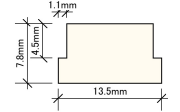

- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・ブラスドライバ
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ボンチ(プッシュピンなどでも可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒または銀)

## ●取り付け手順

1. 分解する				2. 車体を加工する	
1-1 床板を外す	1-2 屋根を外す	1-3 側窓を外す	1-4 ライトレンズを外す	2-1 ボディを遮光する	
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	必須ではありませんが、屋根上の部品を保護するために、屋根を、中央のフックを楊枝などで押して外します。	側窓を、ライトレンズとの噛み合部をコジって外します。	ライトレンズを、ボディとの隙間を精密ドライバなどでコジって外します。前面窓を外す必要はありません。	ライト周辺及びレンズの穴の中を銀の塗料(エナメルを推奨)で遮光します。	
2-2 側窓を加工する			2-3 スカートを加工する		
側窓前端下部を、先端の突起から2mm上の位置を通る45度の線でカットします。			スカートの脚を、1つ目のツメの側で切り取ります。固定はカラー胴受部分のツメで行い、ゴム系接着剤を併用します。		
3a. 床板を加工する				3b. 動力ユニットを加工する	
(トレーラー車の場合)				(動力ユニットを組み込む場合)	
床板の前端両側の突起を削り取ります。		シートの前端、運転台機器より前の部分を、クランク状に切り取ります。		動力ユニットのフレーム前端を、横方向のリップから0.5mmを残して切り取ります。	
4. ライトユニットを取り付ける					
(3bつづき)		4-1 ライトレンズをはめる	4-2 ライトユニットを取り付ける	4-3 ライトユニット下面の遮光	
加工後の姿です。スペーサーは加工する必要はありません。スペーサーは、固定が緩くなるので、ゴム系接着剤を併用します。		ライトレンズをはめます。固定が緩い場合は、両面テープで固定します。	ライトユニットの、LED内側の平らな部分に、2mm×3mmの両面テープを貼ります。	ライトユニットを取り付けます。	
				4.5mm×3mmのポリエステルテープを2枚用意し、ライトユニットの黒プラスチック部分の下面と、ボディ前面の間に貼ります。	
5. 配線する					
5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る		5-2 側窓下にアルミテープを貼る		5-3 側窓をはめる	
5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリップに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。両側の側窓の両端、計4箇所凸部に貼ります。		3mm×107mmのアルミテープを2本用意します。側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。両側の側窓に貼ります。		側窓はめ、両面テープで固定します。	

5-4 ライトユニットに配線する		5-5 側窓下の重ね貼り	6. チラツキ防止ユニットを取り付ける(M車の場合)	
				
1.5mm × 16mmのアルミテープで、側窓下のアルミテープからライトユニットの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、4.5mm × 4.5mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	側窓下の通電の確実を期して、3mm × 8mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	連結面側の天井に、チラツキ防止ユニットを両面テープで固定します。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	1.5mm × 16mmのアルミテープで、チラツキ防止ユニットの給電パッドから側窓下までまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。
(6-2つづき)				
				
チラツキ防止ユニットの給電パッドの通電の確実を期して、2mm × 10mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	チラツキ防止ユニットへの配線と側窓下のアルミテープを結ぶために、3mm × 16mmのアルミテープを、両者を覆うように貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。			

●遮光床を取り付ける(動力ユニットを使用し室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1. 遮光床を取り付ける
<p>TM-14/18用遮光床 型紙</p>  <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	 <p>動力ユニットのフレームの開口部に遮光床をはめ、両面テープで固定します。 前後両端に取り付けます。</p>

